

第2次広島県がん対策推進計画の取組状況について (医療分野)

【がん医療の目指す姿】

- どこに住んでいても, どんながんになっても, 安心して適切で安全ながん医療を受けることができます。

第2次計画 掲載ページ	項 目
p 95, 96	がん診療連携拠点病院の機能強化
p 97, 98	医療連携体制の充実
p 99	放射線治療の機能分担と連携
p 99	専門スタッフの育成と施設内の適正配置
p 99	安全で適切な化学療法が実施できる体制の検討
p 100	効果的で安全な手術療法の普及
p 101	病理診断の充実
p 101	口腔ケアの推進
p 101	リハビリテーション部門との連携
p 101	臨床試験実施体制の充実及び県民への情報提供

「広島県がん対策推進計画（第2次）」におけるがん医療分野の取組状況（平成27年度までの取組及び課題等）

	取組の方向性（現行計画）	これまでの主な取組	現状と課題	課題解決に向けた対策等																	
医療提供体制の充実強化	<p><がん診療連携拠点病院の機能強化></p> <p>①拠点性の強化（都道府県拠点病院，広島圏域の4基幹病院）</p> <p>②機能評価等による機能強化</p> <p>③集学的治療とチーム医療の充実</p> <p>④地域連携パスの普及による地域連携の推進</p>	<p>①放射線治療の機能分担と連携による「広島がん高精度放射線治療センター」を整備</p> <p>②PDCAサイクルの活用による取組（指定要件）</p> <p>③多専門・多職種によるがん診療連携協議会の設置及び月1回以上の開催（指定要件）</p> <p>④5大がんの地域連携パスを整備（指定要件）</p>	<p>●拠点病院間の診療実績，人的配置，地域連携等の体制に大きな差がある。（指定要件の充足状況を含む。）</p> <p>●地域連携パス適応患者数は微増。地域連携の実態把握ができていない。</p>	<p>○16拠点病院による「がん診療連携協議会」及び各病院におけるPDCAサイクルの確立により，課題認識を院内の関係者で共有した上で，組織的な対策を講じる。（情報収集，分析，評価の実施）</p> <p>【今後の検討課題】</p> <p>・国のがん診療連携拠点病院等の指定要件の見直しに伴う拠点病院のあり方</p>																	
	<p><医療連携体制の充実></p> <p>①がん医療ネットワークの充実強化</p> <p>②5大がん以外の医療体制の現状把握と県民への情報提供</p> <p>③小児がん医療の集約化と県民への情報提供</p>	<p>①普及啓発を目的とした各圏域説明会を開催 [がん医療ネットワーク参加施設状況]</p> <table border="1"> <tr> <td>乳がん</td> <td>肺がん</td> <td>肝がん</td> <td>胃がん</td> <td>大腸がん</td> </tr> <tr> <td>151</td> <td>159</td> <td>214</td> <td>310</td> <td>275</td> </tr> </table> <p>③小児がん拠点病院に指定されている広島大学病院において，月1回ネットワーク会議を開催</p>	乳がん	肺がん	肝がん	胃がん	大腸がん	151	159	214	310	275	<p>●連携状況を把握する仕組みがなく，拠点病院を中心とした効果的な役割分担等の検証ができていない。</p> <p>●小児がんに係る医療提供体制等の現状把握ができておらず，医療連携や長期フォローアップ体制の充実が図られていない。</p>	<p>○「がん診療連携協議会」と連携して実態把握を行い，実情に応じた医療連携体制を構築する。</p> <p>○小児がんに係る医療施設及び患者・家族等の実態を把握し，連携体制を構築する。（学校との連携等を含む。）</p>							
乳がん	肺がん	肝がん	胃がん	大腸がん																	
151	159	214	310	275																	
医療内容等の充実	機能分担と連携（放射線治療）	<p>・平成27年10月に「広島がん高精度放射線治療センター」を開設</p>	<p>●基幹4病院の連携による運営と機能分担を進めているところであり，取組の更なる推進と効果検証を行わなければならない。</p>	<p>○同センターを中心とした機能分担と連携を実践するとともに，効果検証手法を確立する。</p> <p>【今後の検討課題】</p> <p>・機能分担と連携の促進</p> <p>・診療機能を十分に発揮できる体制の整備（施設，設備及び人材の適正配置と人材育成）</p>																	
	専門スタッフの育成と施設内の適正配置（放射線治療，化学療法）	<p>・広島大学において「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」を実施（平成19年度～） [専門医等の合格者数]</p> <table border="1"> <tr> <td>専門医等</td> <td>合格者数</td> </tr> <tr> <td>放射線治療専門医</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>がん薬物療法専門医</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>婦人科腫瘍専門医</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>乳腺専門医</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>がん治療認定医</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>がん専門薬剤師</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>がん看護専門看護師</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>医学物理士</td> <td>3名</td> </tr> </table> <p>・拠点病院指定要件の強化に伴う専門スタッフの配置</p>	専門医等	合格者数	放射線治療専門医	2名	がん薬物療法専門医	4名	婦人科腫瘍専門医	1名	乳腺専門医	2名	がん治療認定医	30名	がん専門薬剤師	10名	がん看護専門看護師	1名	医学物理士	3名	<p>※別紙「がん治療に係る人材配置状況」</p>
専門医等	合格者数																				
放射線治療専門医	2名																				
がん薬物療法専門医	4名																				
婦人科腫瘍専門医	1名																				
乳腺専門医	2名																				
がん治療認定医	30名																				
がん専門薬剤師	10名																				
がん看護専門看護師	1名																				
医学物理士	3名																				

取組の方向性（現行計画）		これまでの主な取組	現状と課題	課題解決に向けた対策等
医療内容等の充実	安全で適切な化学療法が実施できる体制の検討	※ 実施主体である関係機関の取組状況等を把握し，地对協がん対策専門委員会において，成果及び課題等を検討する。		
	効果的で安全な手術療法の普及 低侵襲手術の普及と充実			
	病理診断の充実（全圏域に病理専門医を配置）			
	口腔ケアの推進（周術期口腔ケアの普及と提供体制の充実）			
	リハビリテーション分野との連携によるがん患者の生活の質の向上			
	臨床試験実施体制の充実及び県民への情報提供			

